



「インフルエンザワクチン」について

今年は、例年より早くインフルエンザが猛威を振るっています。流行中は、人混みを避け、うがいや、手洗いなど日常衛生に気を配ることが大切ですが、加えてワクチンの接種を行うと効果があります。

1. インフルエンザワクチン接種は必要？

インフルエンザは感染すると高熱・全身のだるさや筋肉関節の痛みなど全身症状の強い病気です。特に高齢者の場合は肺炎などの合併症につながることもあります。**感染した場合もワクチンを接種していれば、症状が軽くて済むことが多い**ことがわかっています。インフルエンザワクチンの接種によって、肺炎などの合併症を予防する点からも必要と考えられています。

2. インフルエンザワクチンの内容は？

今年の「インフルエンザワクチン」は、インフルエンザA型2種類（ビクトリア、パース）とB型1種類（オーストリア）の合計3種類です。

A型株	A／ビクトリア／4 8 9 7／2022 (H1N1)
	A／パース／7 2 2／2024 (H3N2)
B型株	B／オーストリア／B5947／2021 （ビクトリア系統）

3. インフルエンザワクチンの効果の期間は？

個人差はありますが、ワクチン接種から**抗体獲得まで約2週間ほど**かかり、**効果持続は接種後約5ヶ月**といわれています。接種時期は12月上旬には終わらせるのが理想的です。

当院では土曜日も終日外来診療を行っております。ご利用ください。

診療受付時間

月曜～土曜 AM8:30～11:30 PM1:00～4:00

「インフルエンザワクチン」について

4. 卵にアレルギーのある人のインフルエンザワクチン接種は？

卵アレルギーの程度にもよりますが、ほとんどの場合問題なく接種できます。

インフルエンザワクチンは、発育鶏卵を使うために、ごくわずかに鶏卵由来成分がワクチンの中に残って、アレルギー症状がまれに起こることもあります。しかし、近年は、**軽い卵アレルギーではほとんど問題にはなりません**。重篤な卵アレルギーのある方、例えば鶏卵を食べてひどい蕁麻疹（じんましん）や発疹（ほっしん）を生じたり、口の中がしびれたりする方や、卵成分でアナフィラキシーショックを起こしたことがある方は**接種前に医師とよく相談のうえ、十分に注意して接種**を受けることを勧めます。

インフルエンザ患者数推移

2025年11月24日（月）～2025年11月30日（日）

小平市医師会報告より抜粋

